



ハートのアセンション日記

いくらハートを理解しても

最後に大事なことはやはり実践で、

それを発現することだと思いました。

自分のハートを信じて歩みつづけること。

そして、一人でも多くの人にこのハートの大切さを、

身を持って伝えることなのだと思います。

この地球で愛だけが唯一の救いであり

そのためにハートが存在している。

そして私のハートもまた、誰かに伝えるために存在し

その誰かもまた、別の誰かのために・・・

そうやって1000年が10000年となり

積み重なっていく

神の愛に近づく遠い道のり。

私たちはすべて、

このハートを通して繋がっているのだと

そして神聖な地球の姿をふたたび取り戻すために

変化の力になりたいと思っています。

今は、この地球が

かけがえのない美しい星だということを

私の細胞が、それを伝えようとしています。

この地球のすべての人が
ハートと魂から話す機会を
与えられているということは
本当に光栄なことだと思います。

自分が何者で、何のために来たのか
そして、一人ひとりが偉大な存在なのだということを

思い出す

またとない機会だと思います。

でも、ハートが壊れてしまったら輝けないし

偉大な自己を思い出すこともできません。

だから、私たちはお互いに愛し合い

慈しみ尊敬することが大切なのだと思います。

戦争・革命・飢餓は、拭いきれないほどの
痛みをとおして

愛だけが唯一の救いだと教えてくれました。

幕末の頃、何が正義で何が悪だったのでしょうか。

それでもただ、それぞれが信じた道のために

純粹に戦っていたのだと思います。

人々はみな生きる意味を失い

それでも光を見出そうとしていた。

悪が悪を行うこと、善が善を行うこと

それすらが光だったのかもしれない。

不穏な時代はいま始まったことではないし

人類史の初めから今日まで続いていることです。

でも、どんな時代であろうとも

決して変えることができないものは
すべてを愛すること、そして変えようとする力。

それが「維神の力」と「ゆるぎない意志」

なのだと思います。

決して変えることのできない

魂と人の理（ことわり）「すべては一つの愛」

神と人の理なのだと思います。

小さな事も大きな出来事も

喜びをもって受け入れ

刀を反して心に触れたなら

きっと明治維新は

別の形で成就していたのかもしれない。

だからこそ、その続きを現代において
痛みを絆に、苦しみを希望に変えることができるの
だと思えます。

神聖だった地球の姿を
「維神」とともに取り戻すために・・・

それには、一人ひとりが
神聖なる愛になること以外にないのだと。

そして、どんなにつらい状況でさえ
小さな子供が笑っていられるように
この道を笑顔で歩いていければと思えます。

この美しい地球、母なる大地は

生命に満ちあふれており

そしてすべてが繋がっているからこそ

出来るのだと思えます。

道には、いつも曲がり角があり

新たな角を曲がったときに

その先に何を見出すか

私はそこに、愛と光を生み出していきます。

そして生かされ、自分で選んだこの道を

より一つでも多くの笑顔と幸せを世に灯すために

生ある限り、いまを生きている人々のために

愛と光をとおして、

この維神の人生を完遂していきます。

それが、この一月のあいだに

私がハートをとおして感じた答えでした。

ハート